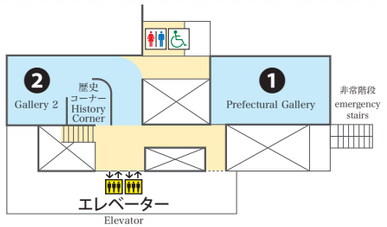
館内案内図

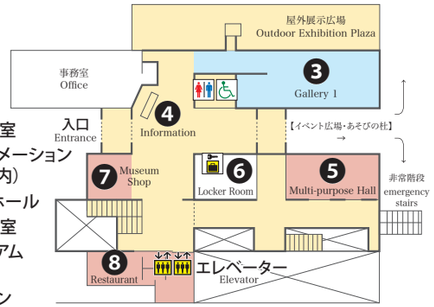
2階 SECOND FLOOR

❶ 県民ギャラリー
❷ 第2展示室



1階 FIRST FLOOR

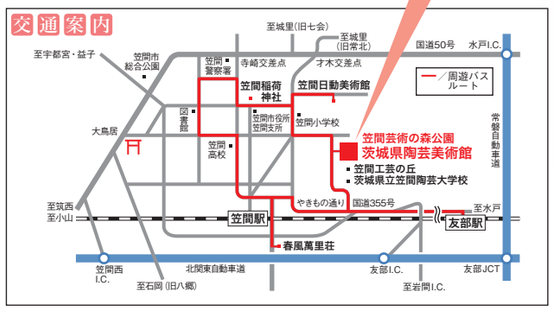
❸ 第1展示室
❹ インフォメーション（総合案内）
❺ 多目的ホール
❻ ロッカー室
❼ ミュージアムショップ
❽ レストラン



地下1階 FIRST BASEMENT FLOOR

❾ オープンギャラリー
❿ 企画展示室

交通案内



当館の美術普及事業には宝くじの収益金の一部が使われています。
茨城県陶芸美術館

利用のご案内

開館時間 午前9時30分～午後5時（入場は4時30分まで）

休館日 月曜日（ただし、祝日の場合は開館し翌日休館）
12月29日㊎～1月1日㊗　※臨時開館は5/1㊐、8/14㊐、11/13㊐

観覧料　（　）内は20名以上の団体料金

		一般	高齢者（70歳以上）	高大生	小中生
企画展	フィンランド・グラスアート／ムーミンの食卓とコンヴィヴィアル展	840(680)円	420(340)円	630(520)円	320(260)円
企画展	未来へつなぐ陶芸 伝統工芸のチカラ展	840(680)円	420(340)円	630(520)円	320(260)円
企画展	皇室と近代の陶磁 三の丸尚蔵館名品展	840(680)円	420(340)円	630(520)円	320(260)円
企画展	グラスアート・ライジング 藤田、リトルトン、リベンスキーと世界の作家	840(680)円	420(340)円	630(520)円	320(260)円
コレクション展・テーマ展		320(260)円	160(130)円	260(210)円	160(130)円

※企画展開催期間中は、企画展の観覧料ですべての展示室が観覧できます。
※企画展開催期間中でも、コレクション展・テーマ展のみの観覧ができます。

■共通年間パスポートの案内（購入日より1年間有効）
茨城県立美術館（近代美術館、天心記念五浦美術館、陶芸美術館）の各美術館で発売中。 一般3,150円　高大生2,100円　小中生1,050円

■次の項目に該当する方は、無料で展覧会をご覧いただけます。
1 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳又は指定難病特定医療費受給者証をお持ちの方及び付き添いの方（ただし1人につき1人まで）
2 土曜日に入館する小・中・高生（ただし、長期休業日に当たるときは除きます。）
※上記1・2の該当者は、受付で確認できるものの提示をお願いします。
3 教育課程に基づく教育活動として入館する茨城県内の学校の児童生徒及び引率者（県外の特別支援学校を含む・事前に減免申請をしてください。）
4 児童福祉施設、障害者支援施設、老人福祉施設に入所している方及び引率者など（事前に減免申請をしてください。）
※5/27㊏,7/29㊏,9/15㊎～9/18㊐㊗,9/20㊌,9/21㊍,1/27㊏は、満70歳以上の方は無料になります。
※茨城県民の日（11/13㊐）は、全ての方が無料になります。

■友の会（年会費）

一般成人	一般学生	特別（個人・法人）	
3,000円	2,000円	20,000円	～陶芸で心豊かな生活を！～

＜アクセス＞
電　車 ／ JR常磐線友部駅からかさま観光周遊バス（料金100円）で15分、時刻表はホームページに掲載
または、JR水戸線笠間駅からタクシーで5分（徒歩30分）
車　／ 北関東自動車道、友部I.C.から10分、笠間西I.C.から15分
駐車場 ／ 笠間芸術の森公園北駐車場（300台）をご利用ください。

お客様へのお願い

- 禁止マークのある作品の撮影はご遠慮ください。また、撮影可の作品でもフラッシュ、三脚（一脚）の使用および動画の撮影はご遠慮ください。
- メモをとる際は鉛筆以外の筆記具（消しゴムを含む）の使用はご遠慮ください。
- 展示作品及び展示ケースには、手を触れないでください。
- 展示室内では、一切の飲食（飴やガムを含む）をお断りします。
- 携帯電話、スマートフォンは電源を切るかマナーモードにし、通話はご遠慮ください。
- 他のお客様の観覧の妨げにならないよう、大きな声での会話はご遠慮ください。

作品及び鑑賞環境保護のため、皆様のご協力をお願いします。

茨城県陶芸美術館
IBARAKI CERAMIC ART MUSEUM
〒309-1611 茨城県笠間市笠間2345番地
［笠間芸術の森公園内］
Tel. 0296-70-0011　Fax. 0296-70-0012
HP　Instagram　Facebook

ICAM
Ibaraki Ceramic Art Museum

「ケラモん」
茨城県陶芸美術館
教育普及キャラクター

～あらたな出会い
あなたとの出会い～

茨城県陶芸美術館

展覧会年間スケジュール

2023.4 ▶ 2024.3

企画展 1

Collection Kakkonen
photo: Rauno Träskelin

フィンランド・グラスアート
輝きと彩りのモダンデザイン

グンネル・ニューマン「カラー」1946年
コレクション・カッコネン

©MC™

／ **ムーミンの食卓とコンヴィヴィアル展**

トーベ・ヤンソン
『たのしいムーミン一家』1948年

企画展 2

未来へつなぐ陶芸
伝統工芸のチカラ展

中田 博士（なかだ ひろし）「真珠光彩壺（しんじゅこうさいつぼ）」
2020年 当館蔵

企画展 3

皇室と近代の陶磁
三の丸尚蔵館名品展

錦光山 宗兵衛（きんこうざん そうべえ）(6代)「粟田焼花鳥図花瓶（あわたやき かちょうず かびん）」
明治時代（19世紀）　三の丸尚蔵館蔵

企画展 4

グラスアート・ライジング
藤田、リトルトン、リベンスキーと世界の作家

藤田 喬平（ふじた きょうへい）「飾筥（かざりばこ）・竹取物語（たけとりものがたり）」
1989年

施設等のご案内

■県民ギャラリー［2F］❶

幅広い創作活動発表の場として貸し出しています。展覧会の規模により分割使用ができます。

■第2展示室（歴史コーナー）［2F］❷

笠間焼の歴史や技法を、パネルや映像、パンフレットなどによりわかりやすく学ぶことができます。

■第2展示室（展示コーナー）［2F］❷

現在活躍中の陶芸家の作品を中心に様々なテーマを設け、年3回の展示替えにより紹介します。

■第１展示室［1F］❸

優れた業績を残した文化勲章受章者及び重要無形文化財保持者等の作品を展示し、近現代日本陶芸の展開を紹介します。

■インフォメーション（総合案内）［1F］❹

チケット販売のほか、展覧会情報や館内施設のご案内、車いす・ベビーカーの貸出、授乳室のご利用受付などを行っております。

■多目的ホール［1F］❺

150名収容の多目的ホールでは、「やきもの」に関する映像の上映や美術講演会等の催しを行います。

■ミュージアムショップ［1F］❼

企画展の図録をはじめ、笠間焼から人間国宝まで幅広い作品をご購入いただけます。

■レストラン風の丘［1F］❽

四季の変化が楽しめる眺めのよいレストランで、地元の食材を活かした美味しい料理を笠間焼の器でお楽しみいただけます。

■企画展示室［B1］❿

陶芸を中心とする国内外の優れた工芸作品を鑑賞できるよう、幅広い視野で多彩な企画展を開催します。

■板谷波山ロケセット［屋外展示広場］

映画「HAZAN」(平成15年)のために製作されたロケセット。波山が明治36年に東京都北区田端に建てた住居兼工房を再現したもので、笠間市北山公園から移設されました。

展覧会のご案内 Exhibition Information ［2023.4 ～ 2024.3］

企画展 1

フィンランド・グラスアート 輝きと彩りのモダンデザイン／ムーミンの食卓とコンヴィヴィアル展

2023年 3月18日（土）～ 6月11日（日）

20世紀から現代までのフィンランドを代表する８人のデザイナーのガラス作品約130点を紹介する展覧会と、ムーミンの物語から食文化や共生をテーマに、原画やフィギュアを通してその世界観を紹介する2つの展覧会を同時開催します。

アルヴァ＆アイノ・アアルト
「アアルト・フラワー」
1939年
コレクション・カッコネン

Collection Kakkonen
photo: Rauno Träskelin

©MC™

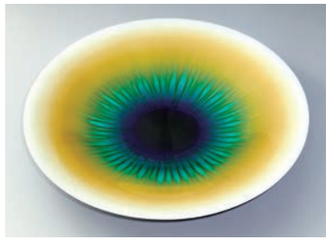
トーベ・ヤンソン
『ムーミンパパ海へ行く』
1965年

企画展 2

未来へつなぐ陶芸 伝統工芸のチカラ展

2023年 7月8日（土）～ 8月27日（日）

日本工芸会陶芸部会の活動が2022年に50周年を迎えたことを記念した展覧会です。歴代の人間国宝の名品から新進作家の最新作を通して、未来へつなぐ陶芸の技と美を紹介します。



三代 德田 八十吉
「耀彩鉢 創生」
1991年 東京国立近代美術館蔵

企画展 3

皇室と近代の陶磁　三の丸尚蔵館名品展

2023年 9月16日（土）～ 12月10日（日）

三の丸尚蔵館は、皇室に代々受け継がれた美術品を保存・管理し、一般に展示公開することを目的に平成５年に開館しました。本展では尚蔵館の所蔵品から、近現代陶磁器の明治から現代までの名品に、茨城とゆかりの深い作家の作品を加えて紹介します。

沼田 一雅
「陶彫唐獅子」
1928年 三の丸尚蔵館蔵

企画展 4

グラスアート・ライジング 藤田、リトルトン、リベンスキーと世界の作家

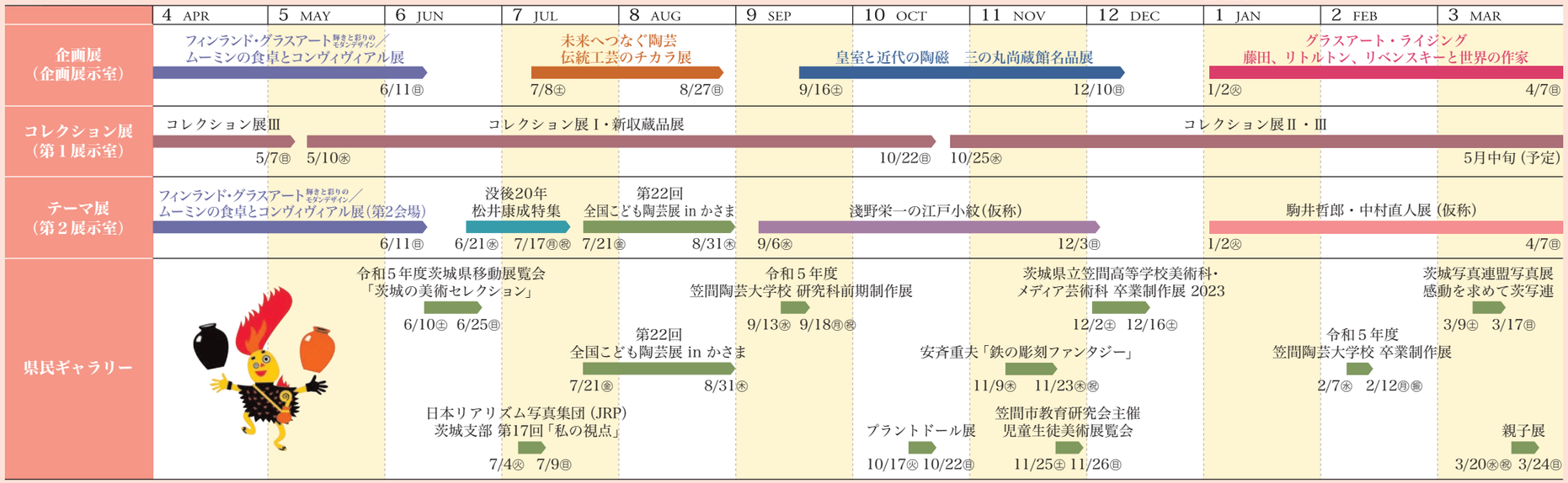
2024年 1月2日（火）～ 4月7日（日）

ガラスの表現は20世紀後半に大きく広がりをみせ、作家の意思をより反映した、自由で多彩な造形が次々に生み出されました。こうした時代を牽引した日本と世界の代表的作家、約20名の100点を超える作品で、ガラスの造形表現の魅力に迫ります。

左：ダンテ・マリオーニ
「無題（赤）」
1990年

右：ダンテ・マリオーニ
「無題（青）」
1991年

Events Calendar 2023 / 2024



◎展覧会名、会期、出品作品等は変更になる場合があります。

コレクション展（第1展示室）

近現代日本陶芸の展開

「近現代日本陶芸の展開」をテーマとして、明治期から現在までの日本陶芸史を概観できるよう、近現代日本陶芸の歩みを語る上で欠かせない作家とその作品を当館の所蔵品を中心に紹介しています。

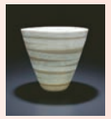
下館町（現筑西市）出身で、文化勲章受章者の板谷波山と、笠間市で作陶し、「練上手」により重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定された松井康成については、特集展示コーナーを設け、紹介しています。

初代 宮川 香山
「色絵金彩猫図鼠高浮彫花瓶」明治前期

岡部 嶺男
「粉青瓷大砧」1969年

板谷 波山
「葆光彩磁葡萄紋様花瓶」1922年
茨城県指定有形文化財

松井 康成
「練上嘯裂文大壺 風船」1981年



新里 明士
「光器」2016年

テーマ展（第2展示室）

現在活躍中の陶芸家の作品を中心に様々なテーマを設け年3回の展示替えにより紹介します。

■ 歴史コーナー

笠間焼の歴史や技法を、パネルや映像などにより、わかりやすく学ぶことができます。

イベント等のご案内（詳しくはHPをご覧下さい）

■ 美術講演会

多彩な講師をお迎えし企画展等の美術や工芸についてお話を頂きます。

■ ワークショップ

企画展の内容に合わせたワークショップをお楽しみ頂きます。

■ 呈茶会

当館ならではの趣向を添えて、美味しいお茶を召し上がって頂きます。

■ 企画展ギャラリートーク

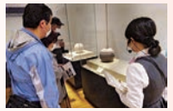
担当学芸員が企画展の見どころをわかりやすく紹介します。

■ 展示解説員によるギャラリートーク

松井康成について
水 曜 日 13:30～
日曜日・祝日 13:30～

板谷波山について
金 曜 日 13:30～
日曜日・祝日 14:00～

（当日先着順／各20分程度）



■ 陶芸ボックス

学校の授業や公民館等の各種講座で活用できます。